



**METAVISION株式会社**

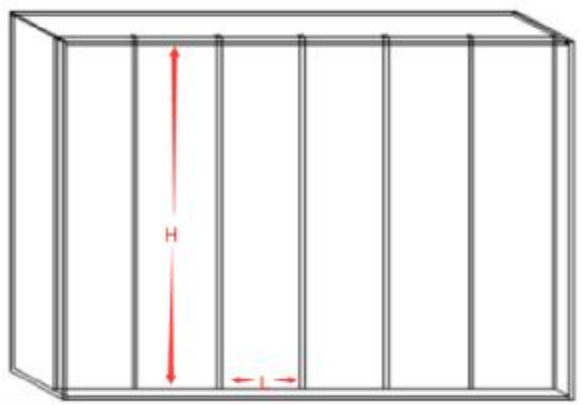
Email : info@metavision.co.jp

Tel:024-973-8881 Fax:024-954-7130

# LEDディスプレイユーザーマニュアル

## LED ディスプレイ設置説明書

### 1. キャビネットフレーム構造図

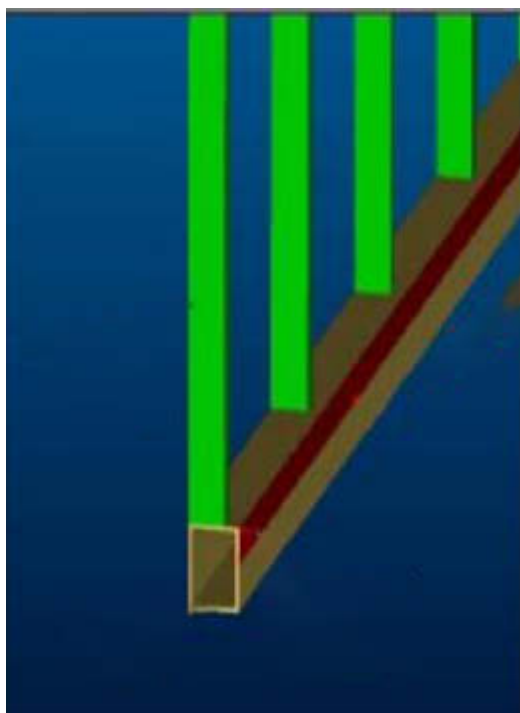


(1) L: 単一キャビネットの幅

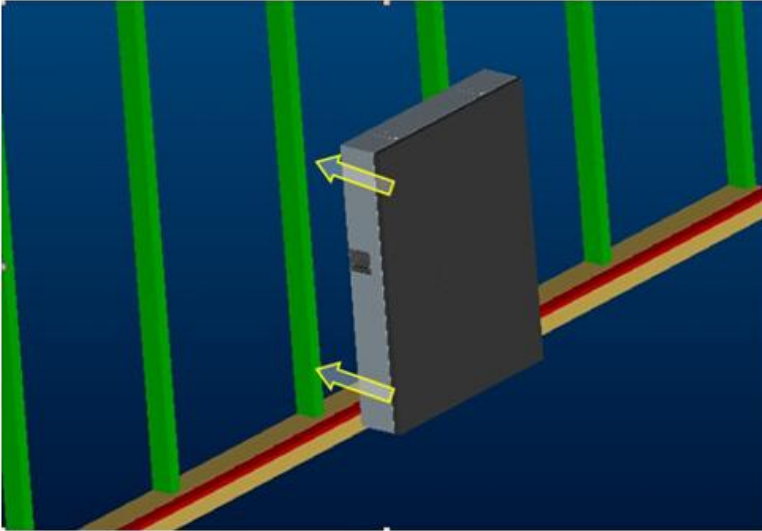
(2) H: 全体のLEDスクリーンの高さ

### 2. キャビネットの接続

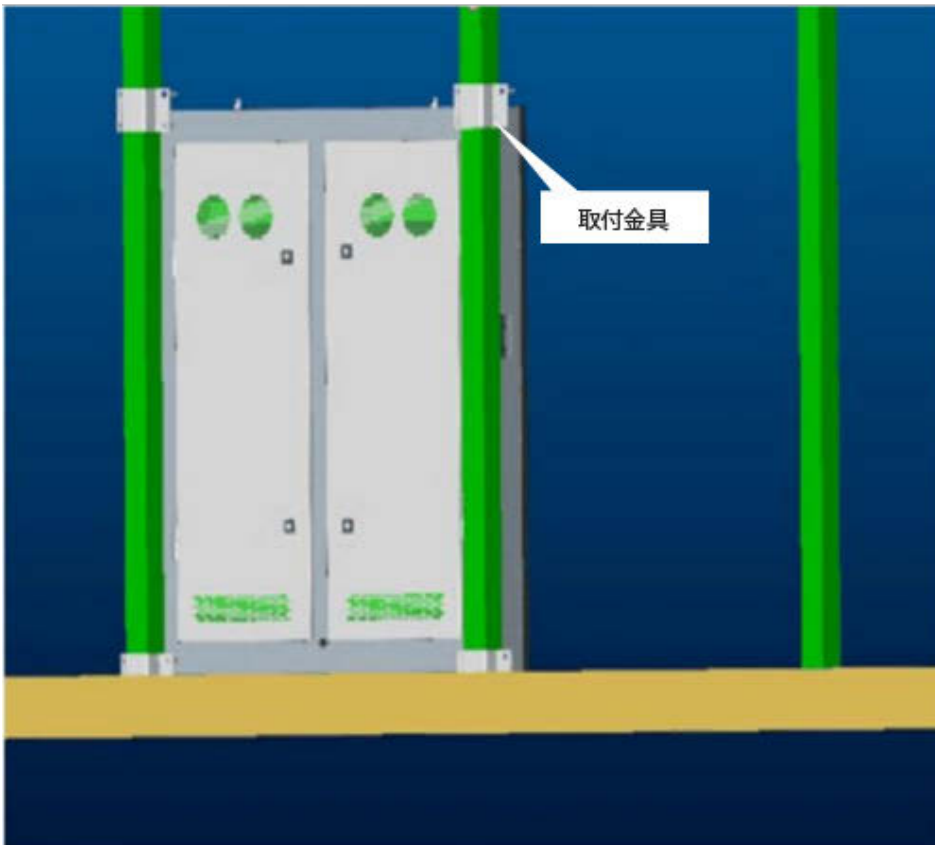
(1) LEDスクリーンの鋼構造と水平方向の溝の底をしっかりと整備します。設置の効果と速度は、底の状態によって影響を受けます。

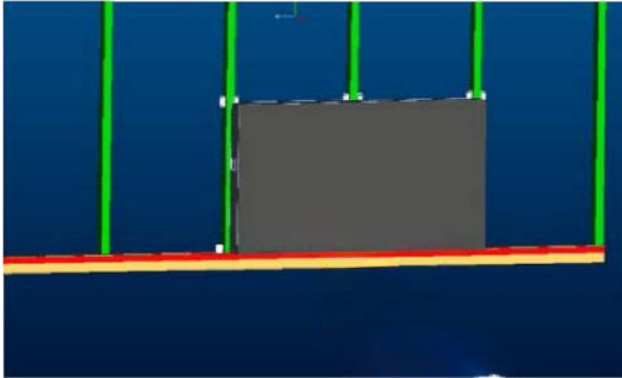


(2) 最初のキャビネットの設置を開始します。ずれを避け、全体のLEDスクリーンの滑らかさを確保するためには、中央から両側に向けて設置するのが理想的です。



(3) 適切な接続プレートは工場準備されます。最初の行のキャビネットを調整した後、ネジを締め始めます。締める際は、力を均等に分配し、全体のLEDスクリーンの滑らかさを確保してください。

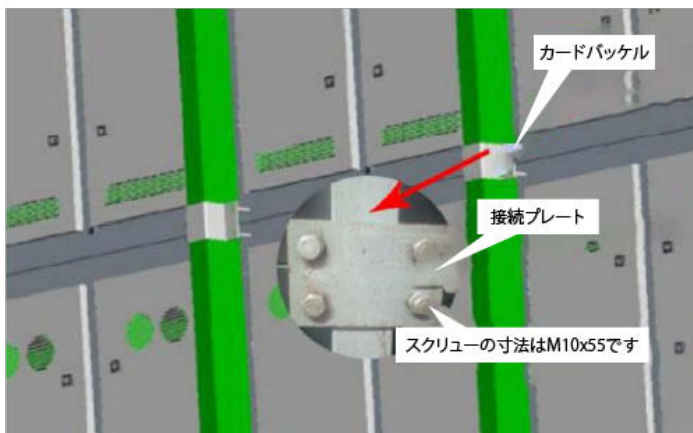
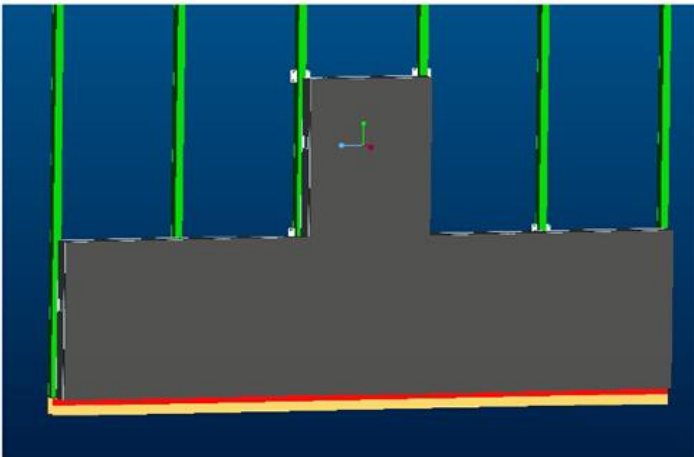




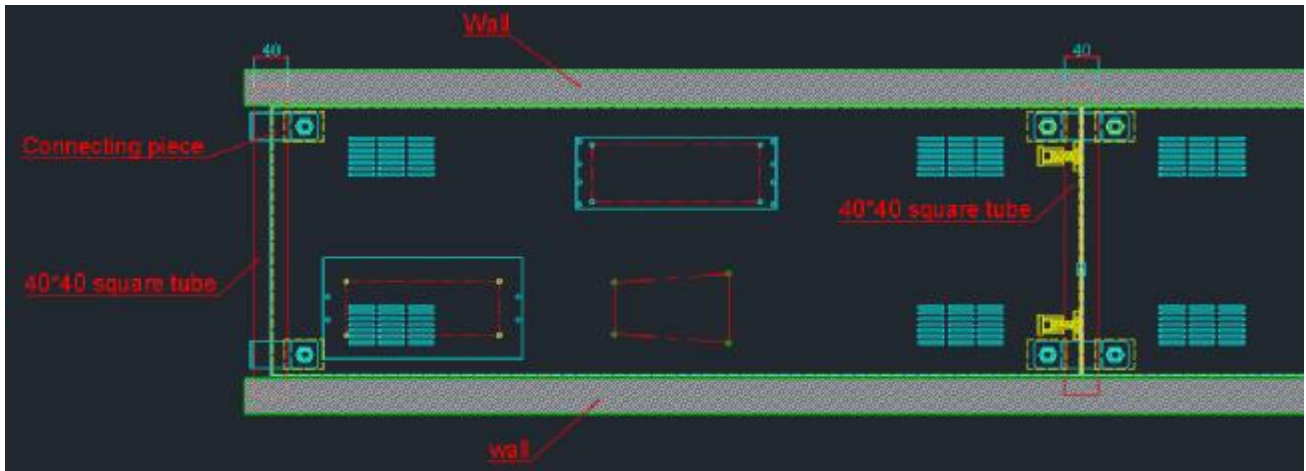
第2のボックスから始めて、設置後に隣接するボックスを確認してください：

1. ボックス間の隙間
2. ボックスの平面
3. タンクレベル

スクリーン本体の設置効果要件 - 各ボックスを設置する際には寸法精度を調整し、各ボックス本体の設置後にスクリーン本体が整然と保たれるようにし、誤差が超えた場合には誤差を調整してください。



(4) 下の図は、ボックスの背面に鋼構造を設置するための概略図です。図に従って鋼構造とボックスを取り付けてください。



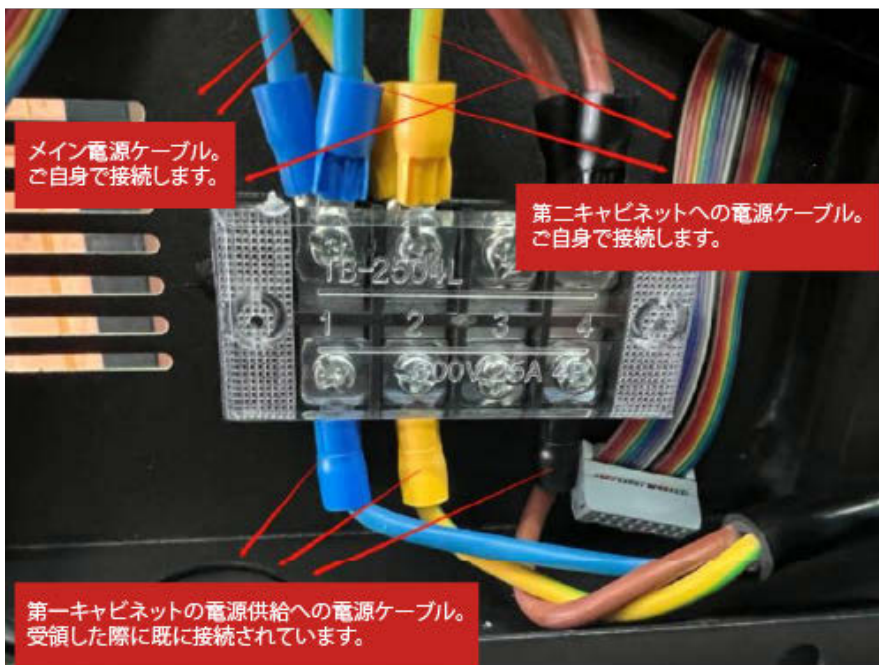
### 3. キャビネット間の電源および信号ラインの接続

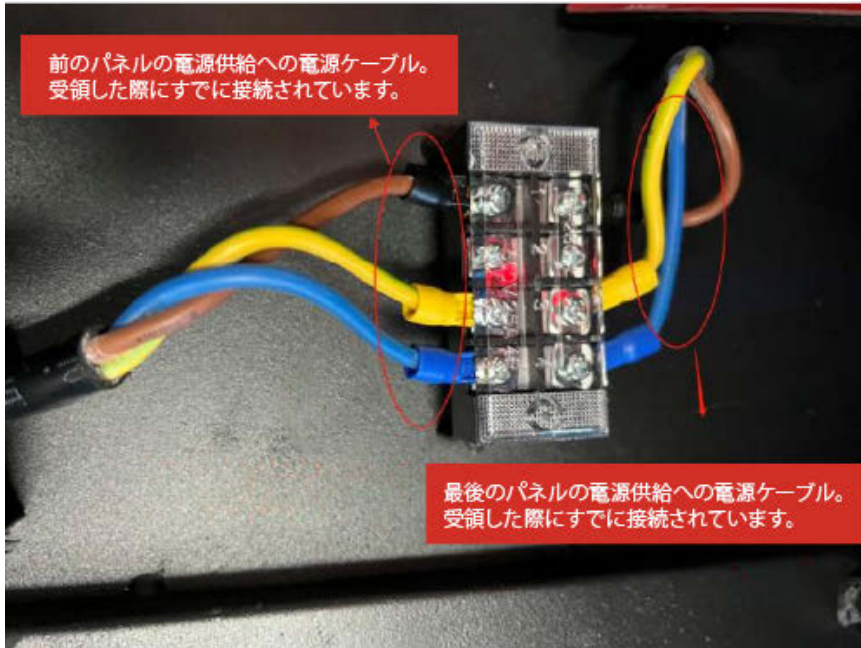
(1) 各キャビネットの側面には、隣接するキャビネットに電源ケーブルや信号ケーブルを接続するためのケーブル穴があります。



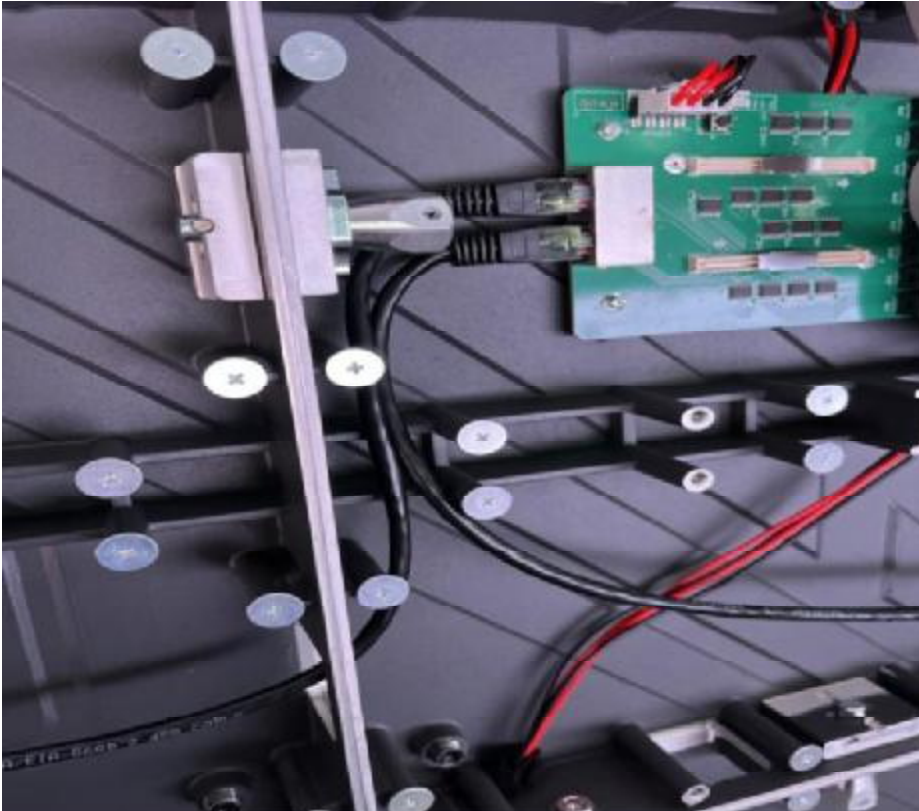
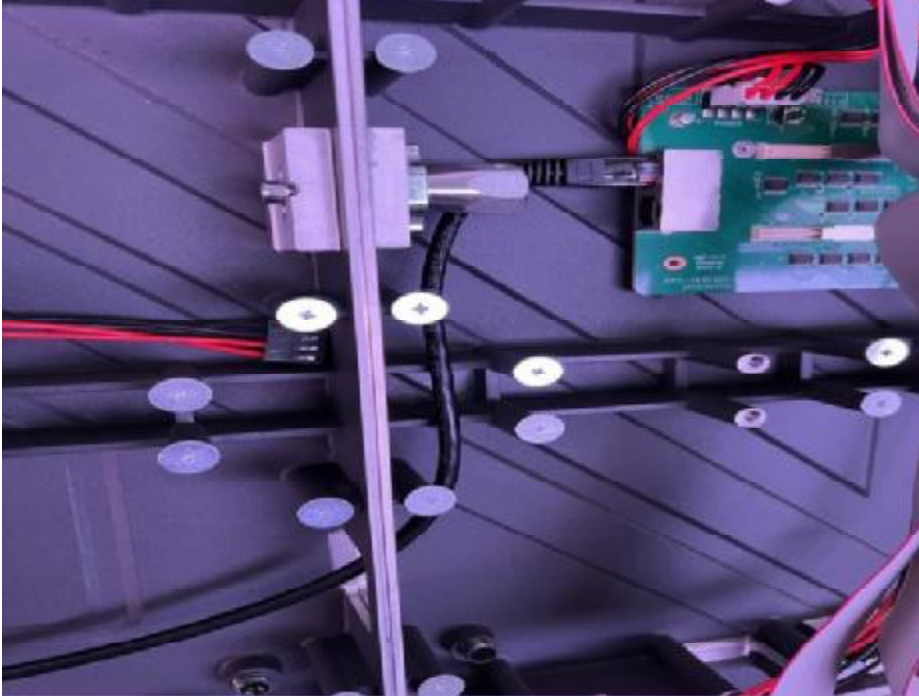
(2) 最初のキャビネットの端子にメイン電源ケーブルを接続し、次に別のキャビネットの端子に接続する電源ケーブルのセットを接続します。これを繰り返します。

各キャビネットには3セットの電源コードがありますが、最後のキャビネットには2セットの電源コードがあります。受け取った際、各端子の一方の側のみが使用されている場合は、予備の側にケーブルを接続してください。





(3) 受信カード間の信号線も、キャビネットのケーブル穴を通じて全キャビネットの受信カードに接続されます。受信カードのネットワークポートは、入力と出力に分かれていません。



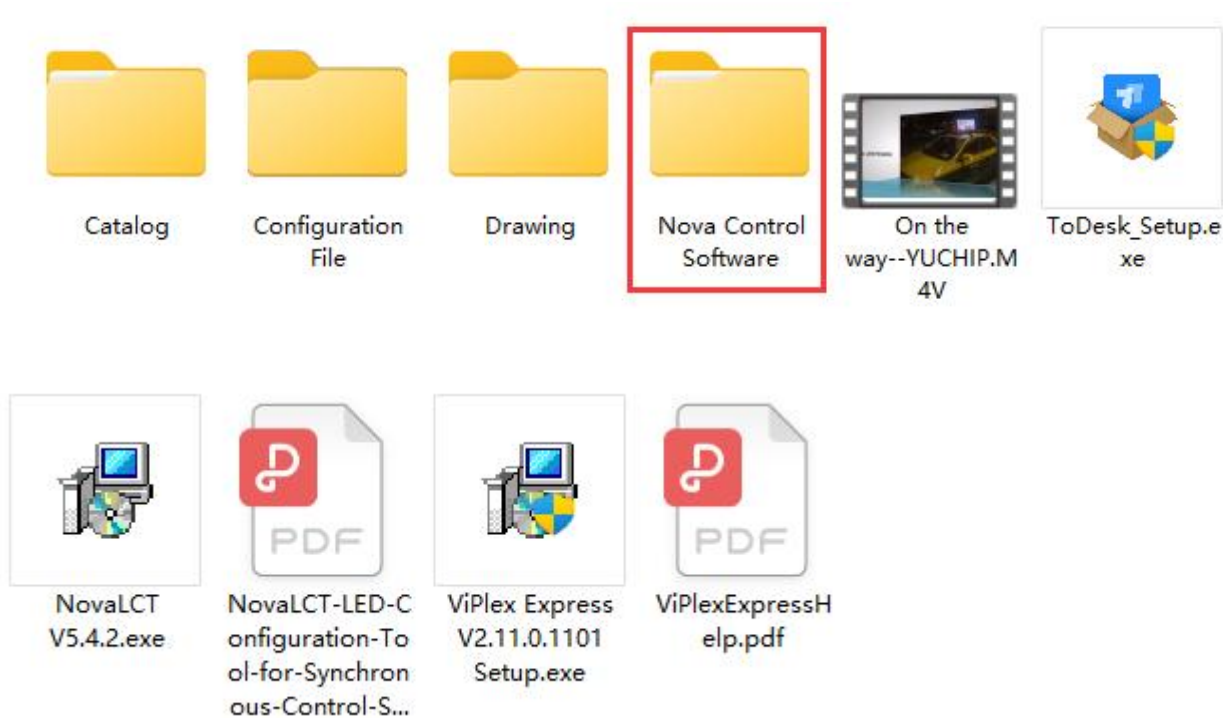


#### 4. ディスプレイパラメータのデバッグ

(1) ディスプレイには、インストールパッケージとデバッグソフトウェアの設定ファイルを含むデータがコピーされたUディスクが付属しています。

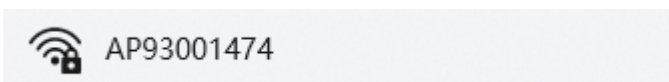
(2) Uディスクをコンピュータに接続し、Uディスクを開いて「Nova Control Software」をクリックします。

「NovaLCT」デバッグソフトウェアと「Viplex Express」再生ソフトウェアをインストールし、添付の取扱説明書を参照してください。

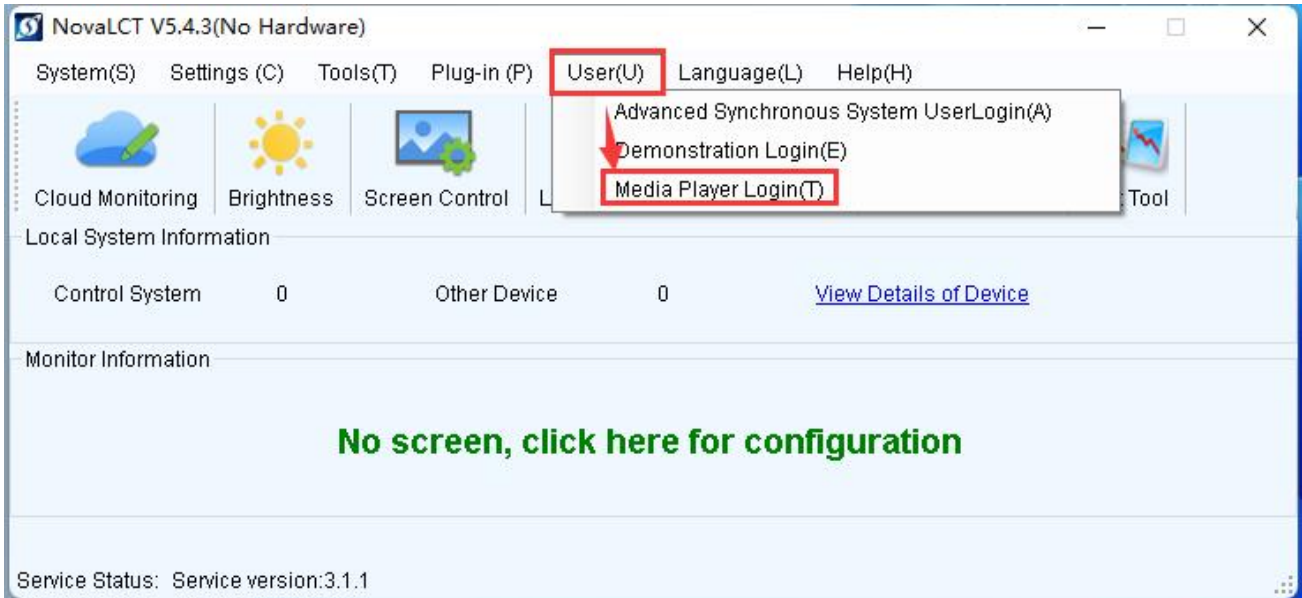


(3) コンピュータをディスプレイスクリーンに接続し、パラメータをデバッグします。

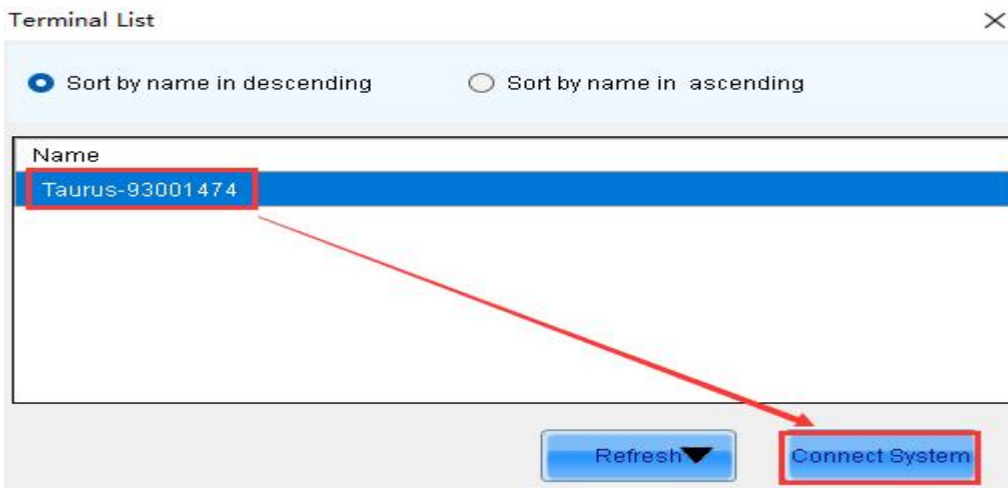
(4) コンピュータのWi-Fiをオンにし、「AP」で始まるホットスポット接続を見つけます。パスワードは「12345678」です。各Tシリーズ送信カードの番号は異なるため、対応する番号を選択してデバッグしてください。



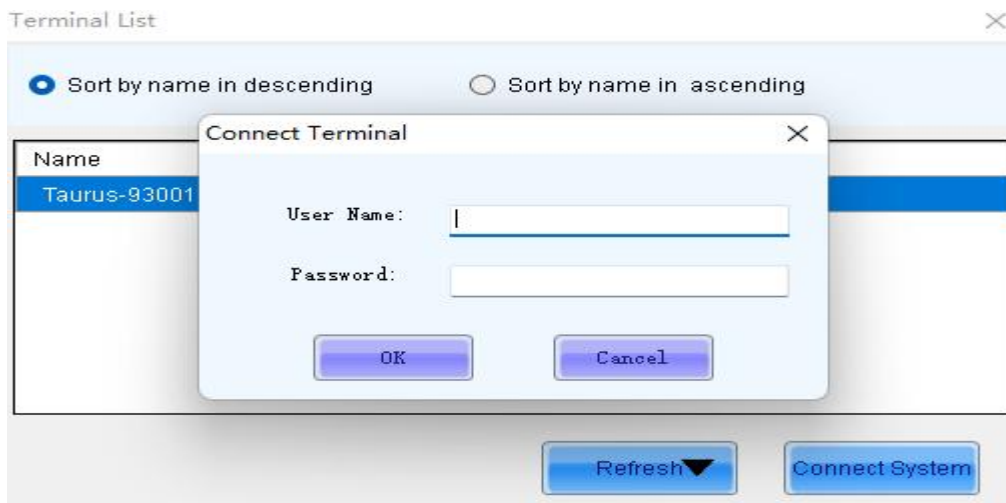
(5) 「NovaLCT」を開き、「User」をクリックし、「Media Player Login」を選択してログインします。



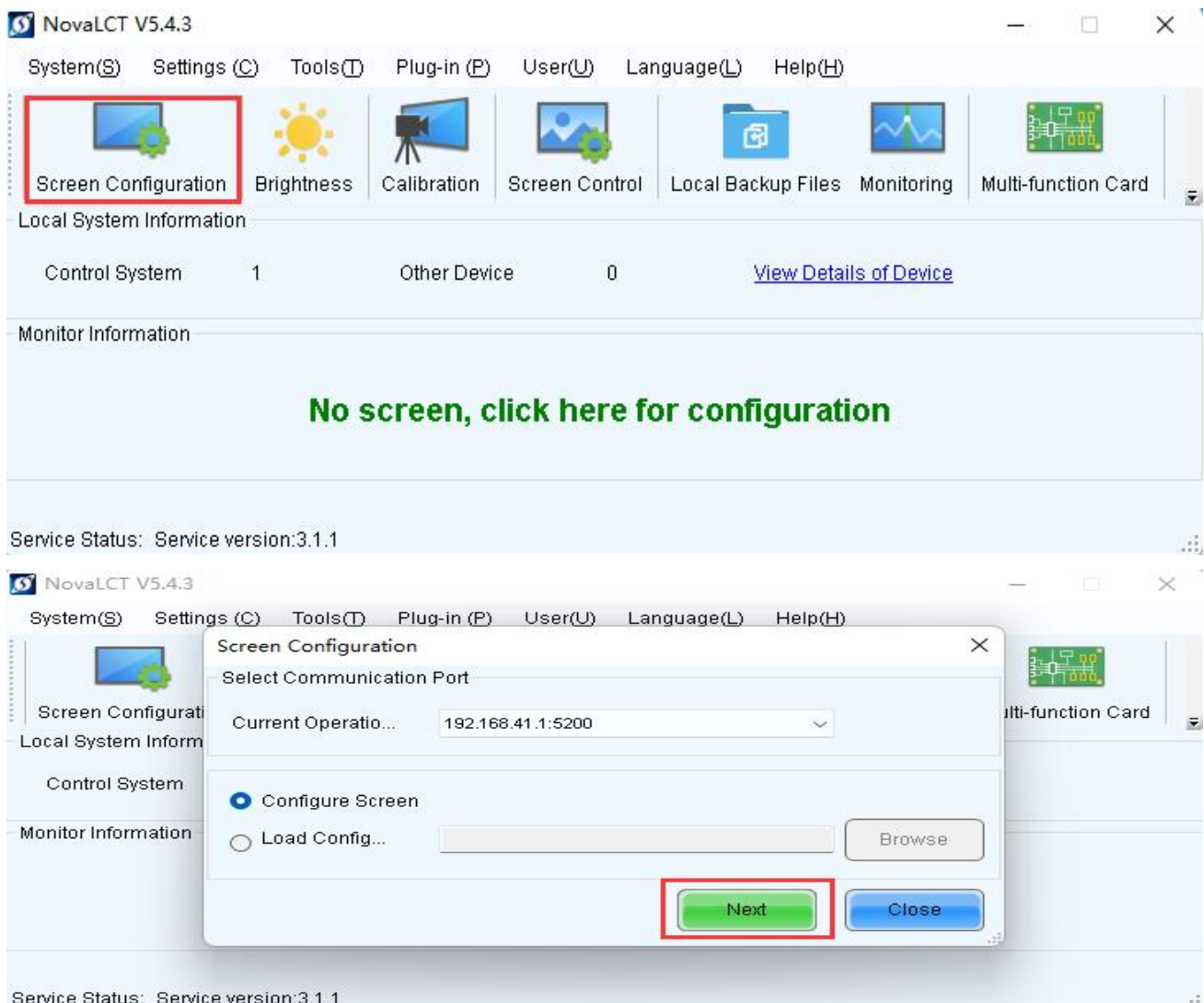
(6) APホットスポット番号と同じものを選択し、「Connect System」をクリックします。



(7) ユーザー名は「admin」、パスワードは「123456」です。



(8) 「Screen Configuration」をクリックして、パラメータの読み込みインターフェースに入ります。「Next」を押して先に進んでください。




(9) 「Load from File」 をクリックし、Uディスクに保存されたRCFGファイル「Configuration File」を読み込みます。

Screen Configuration-192.168.41.1:5200

Receiving Card | Screen Connection

Module Information

Chip:	ICN2038S/L...	Size:	128W×64H	Scanning Type	1/32 scan
Direction:	Horizontal	Data Groups	2	<a href="#">Adjust RG...</a>	

Cabinet Information

[Set Rotation](#)

Regular

Width (Pixel)  <=145

Height (Pixel)  <=512

Module Casc...

Irregular

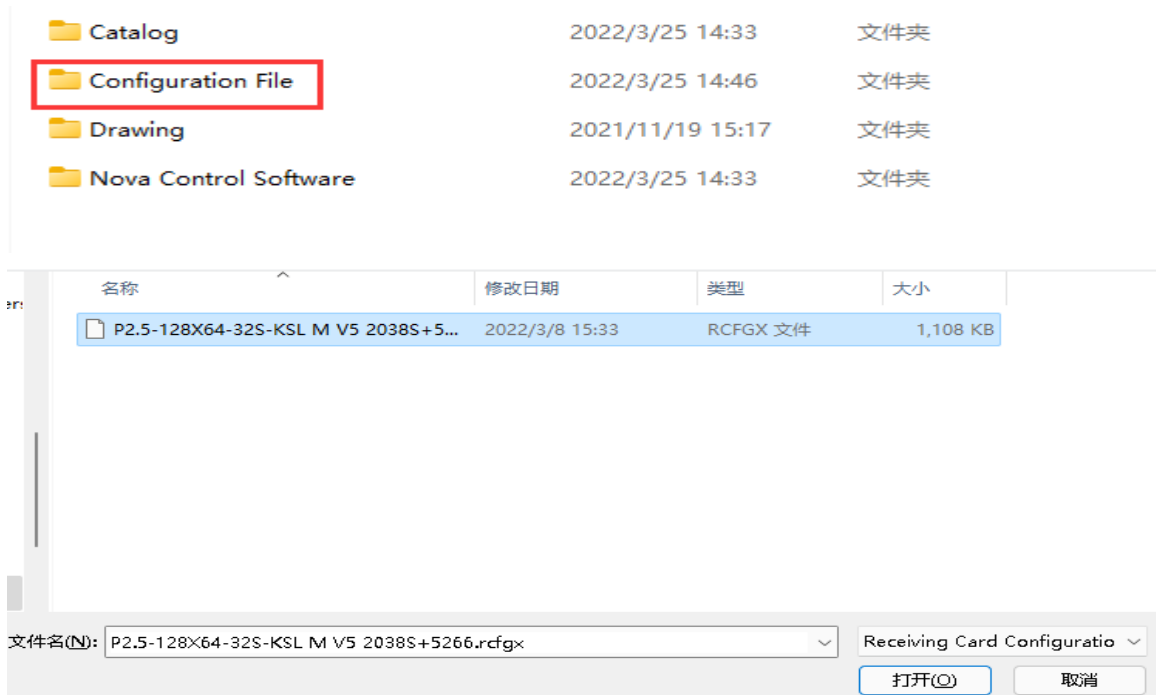
Width: ?? Height: ??

Loading error. Please try to adjust pe...

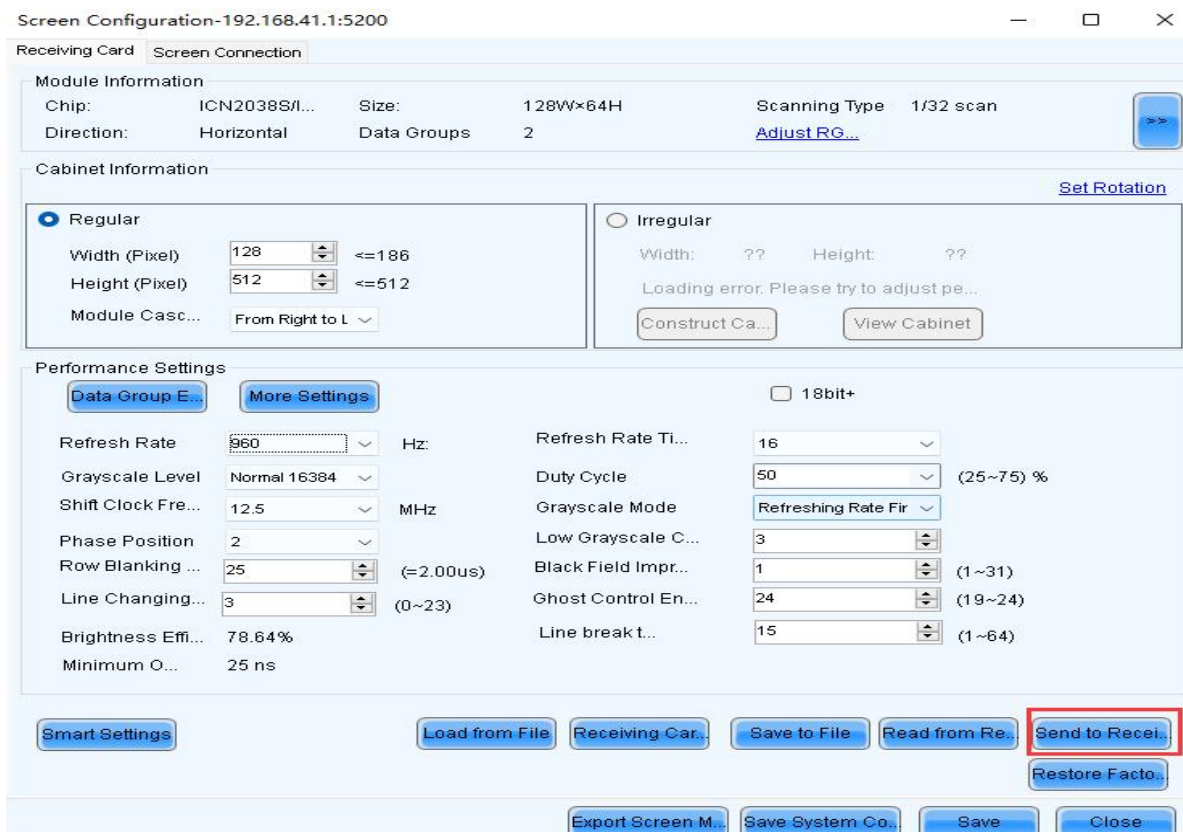
Performance Settings

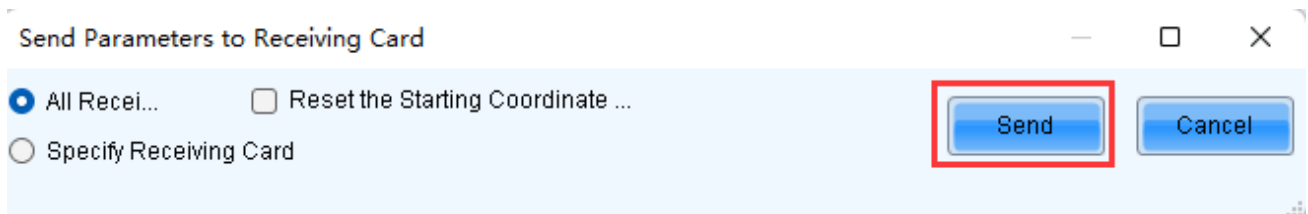
18bit+

Refresh Rate	<input type="text" value="1200"/>	Hz	Refresh Rate Ti...	<input type="text" value="20"/>
Grayscale Level	<input type="text" value="Normal 65536"/>		Duty Cycle	<input type="text" value="50"/> (25~75) %
Shift Clock Fre...	<input type="text" value="12.5"/>	MHz	Grayscale Mode	<input type="text" value="Refreshing Rate Fir"/>
Phase Position	<input type="text" value="2"/>		Low Grayscale C...	<input type="text" value="3"/>
Row Blanking ...	<input type="text" value="25"/>	(=2.00us)	Black Field Impr...	<input type="text" value="1"/> (1~31)
Line Changing...	<input type="text" value="3"/>	(0~23)	Ghost Control En...	<input type="text" value="24"/> (19~24)
Brightness Effi...	<input type="text" value="62.91 %"/>		Line break t...	<input type="text" value="15"/> (1~64)
Minimum O...	<input type="text" value="5 ns"/>			



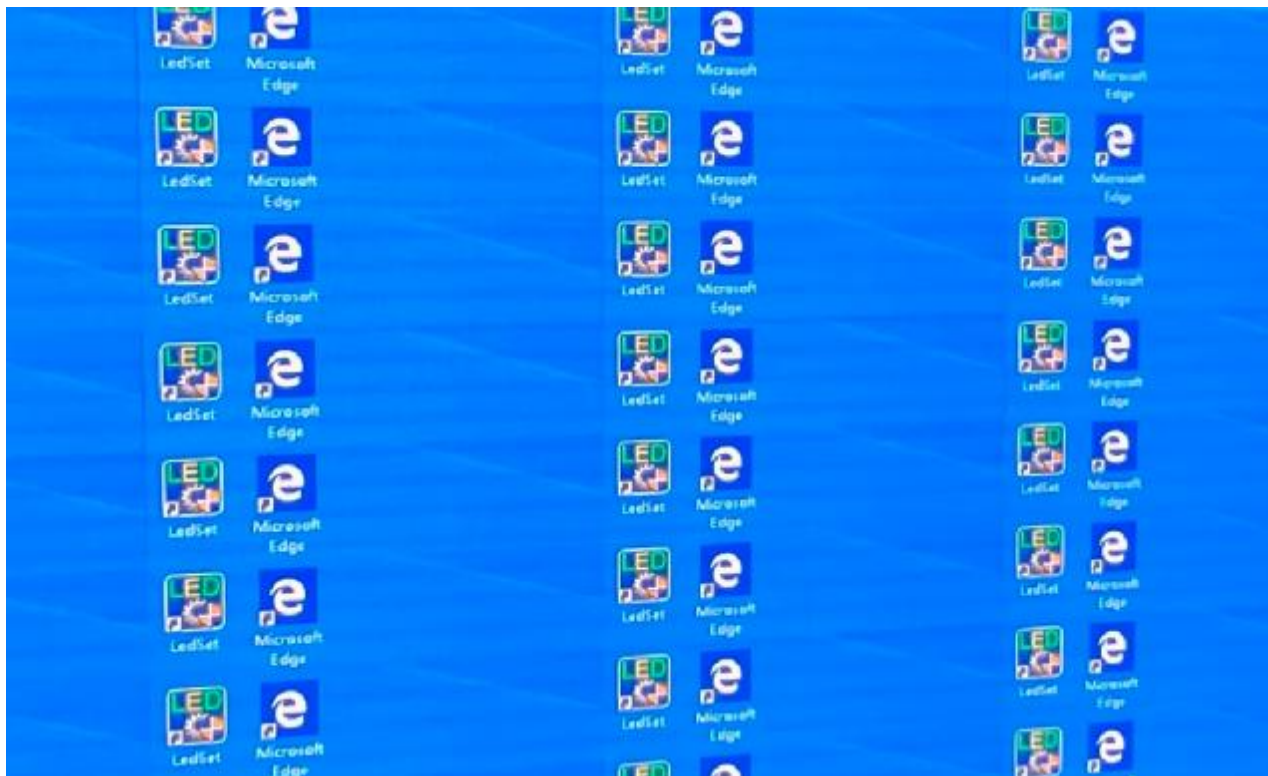
(10) 「Send to Receive」をクリックして、パラメータをアップロードします。Send Parameters to Receiving Cardが表示されたら、「Send」を押してください。

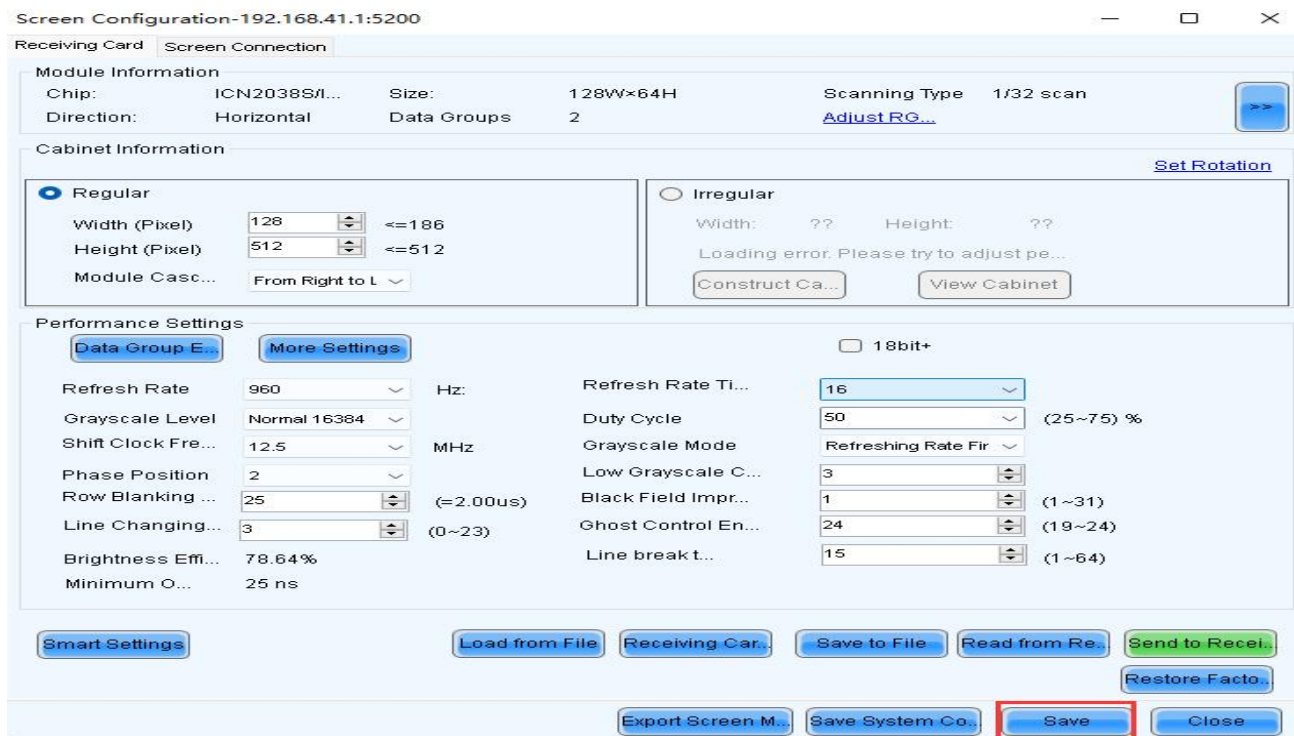




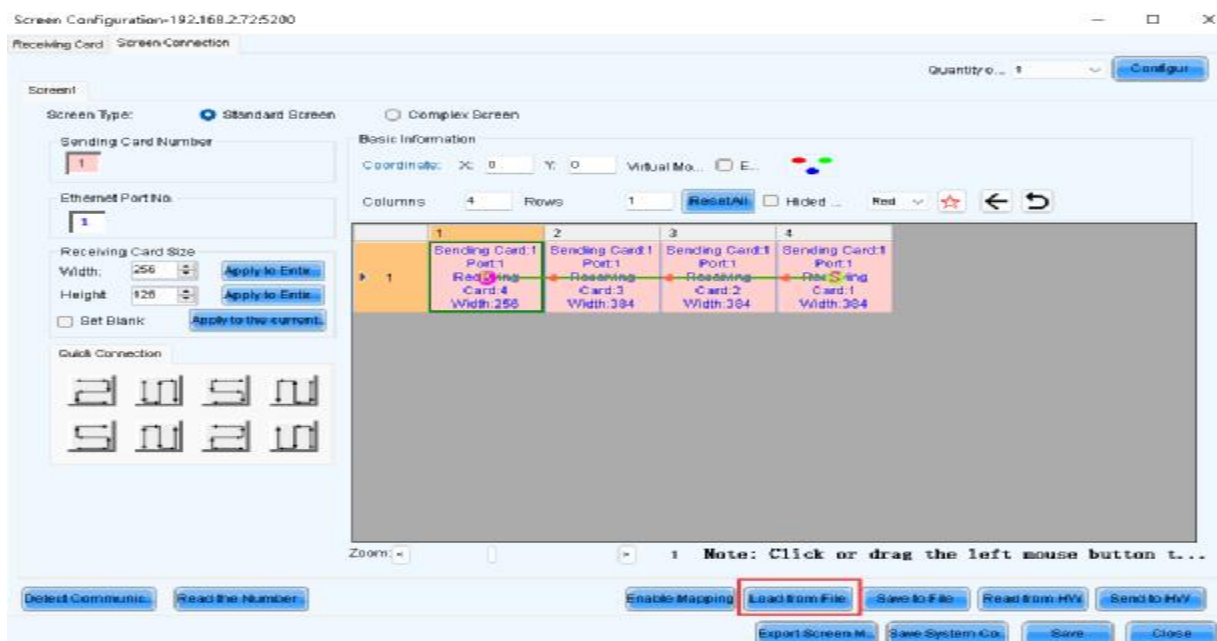
(11) ARCFGファイルを送信した後、各キャビネットが同じ画面を表示し、送信が成功したことを示します。

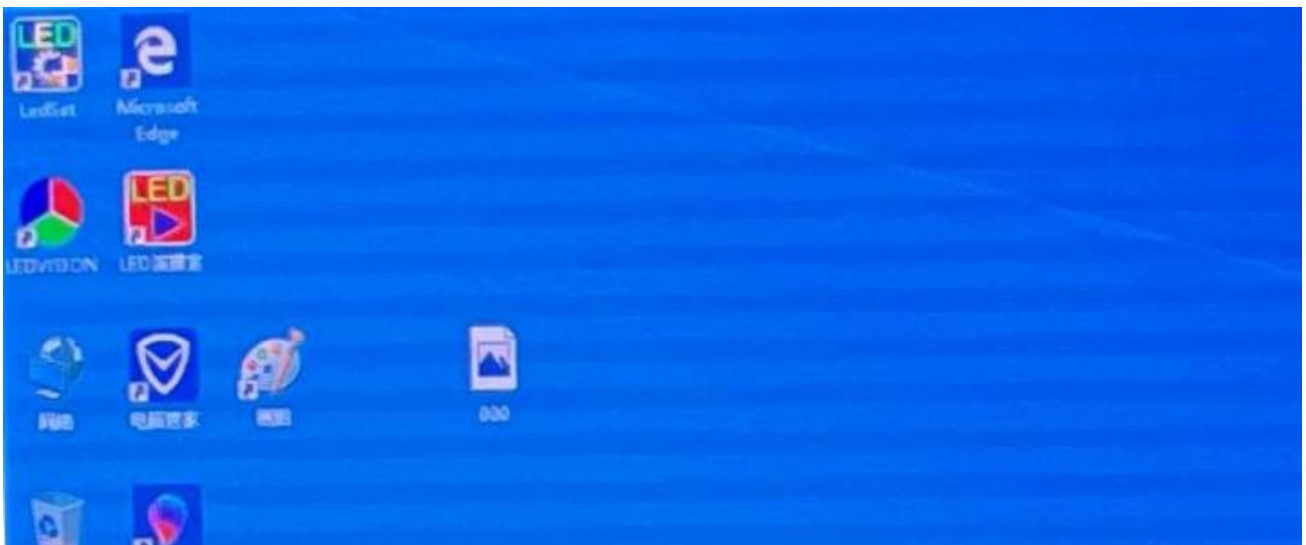
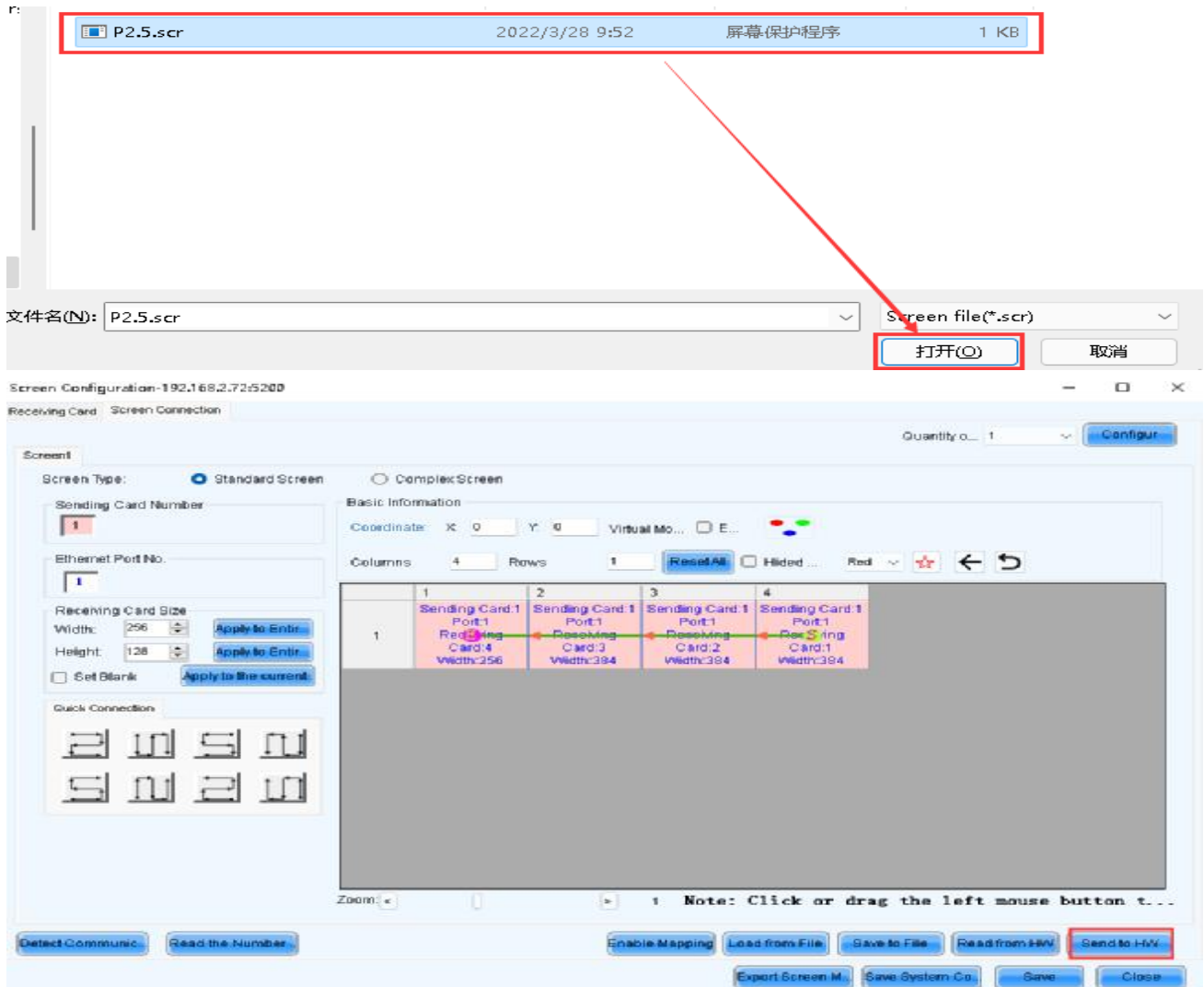
次に「Save」をクリックして、パラメータを受信カードに固定します。電源を切って再起動すると、スクリーンが正常に表示されるようになります。





(12) キャビネット接続スクリーンファイルを送信し、各キャビネットに個別に表示される画像を全体のスクリーンに表示させます。







(13) SCRファイルを読み込んだ後、「Send to HW」をクリックすると、LEDスクリーンが画像を表示します。その後、「Save」をクリックしてファイルを保存します。

